

```

SUBROUTINE SUB(X,MAXX,MINX)
REAL MAXX,MINX
DIMENSION X(100)
MAXX=X(1)
MINX=X(1)
DO 1 I=2,100
  IF(MAXX-X(I))2,1,3
2 MAXX=X(I)
  GO TO 1
3 IF(MINX.GT.X(I))MINX=X(I)
1 CONTINUE
RETURN
END

```

サブルーチン SUB を定義するサブルーチン副プログラム

〔例2〕

印刷する部分をサブルーチンとする。

```

.....
CALL SUBPRT
.....
END

```

サブルーチン副プログラムを引用するプログラム

```

SUBROUTINE SUBPRT
WRITE(6,10)
10 FORMAT(1H0,55H.....)
RETURN
END

```

サブルーチン SUBPRT を定義するサブルーチン副プログラム

〔例3〕

実引数として文字定数を指定する例

```

DIMENSION A(10,10),B(10,10),C(10,10)
.....
CALL PRINT(2HA=,A) ..... A= と2つの文字を印刷したのち、配列Aの
CALL PRINT(2HB=,B) ..... 値が印刷される。
CALL PRINT(2HC=,C)
.....
STOP
END

```

```

SUBROUTINE PRINT(MOJI,X)
DIMENSION X(10,10)
WRITE(6,10) MOJI
10 FORMAT(1H1,A2//)
WRITE(6,20)((X(I,J),J=1,10),I=1,10)
20 FORMAT(1H0,10(2X,F9.4))
RETURN
END

```

サブルーチン PRINT を定義するサブルーチン副プログラム